

**基本目標6 組織体制・財政基盤の強化**

令和7年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果																																			
<b>1 組織体制・財政基盤の強化</b>																																					
<b>(1) 組織体制の強化 ※所管部署：総務企画部</b>																																					
<b>①会員の拡充</b>																																					
ア. 会員の拡充	<p>・令和7年度末現在の会員数：1,296件（825団体、471人） 新規加入：64件、退会：68件、前年度比-4件（0.3%）減</p> <table border="1" data-bbox="611 611 1564 780"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>第1種</th> <th>第2種</th> <th>第3種</th> <th>第4種</th> <th>第5種</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7(A)</td> <td>551</td> <td>39</td> <td>471</td> <td>171</td> <td>64</td> <td>1,296</td> </tr> <tr> <td>増減(A-B)</td> <td>+4</td> <td>0</td> <td>-9</td> <td>-1</td> <td>+2</td> <td>-4</td> </tr> <tr> <td>R6(B)</td> <td>547</td> <td>39</td> <td>480</td> <td>172</td> <td>62</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>(参考)R6</td> <td>547</td> <td>39</td> <td>480</td> <td>172</td> <td>62</td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新設の社会福祉法人や県内企業等に対して、本会の団体概要をまとめた資料を活用しながら、会員の加入促進に努めている。また、会員への研修会参加費の割引や会員企業への優先発注を実施した。</p> <p>－会員の種類－            第1種会員・・・市町村社協、社会福祉法人及び団体、県民児協、社会奉仕団体、医療法人等            第2種会員・・・社会福祉を協働して推進する全県的な団体            第3種会員・・・社会福祉法人・団体の代表者、行政機関職員、学識経験者、単位民児協会会長            第4種会員・・・特別会員（法人、個人）            第5種会員・・・企業系福祉サービス事業所</p>	年度	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種	合計	R7(A)	551	39	471	171	64	1,296	増減(A-B)	+4	0	-9	-1	+2	-4	R6(B)	547	39	480	172	62	1,300	(参考)R6	547	39	480	172	62	1,300	
年度	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種	合計																															
R7(A)	551	39	471	171	64	1,296																															
増減(A-B)	+4	0	-9	-1	+2	-4																															
R6(B)	547	39	480	172	62	1,300																															
(参考)R6	547	39	480	172	62	1,300																															
<b>②理事会・評議員会機能の強化</b>																																					
ア. 理事会・評議員会機能の強化	<p>・理事会・評議員会等の開催を通じ、理事・監事・評議員に対し、事業や財政状況を報告し、経営体制の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議の開催（3回）</li> <li>・理事会の開催（4回）</li> <li>・評議員会の開催（3回）</li> <li>・評議員選任・解任委員会の開催（3回）</li> </ul> <p>・役員及び評議員の任期満了に伴う一斉改選を行い、新たに役員及び評議員を選任した。            第38期理事：再任14人、新任2人            第38期監事：再任3人            第36期評議員：再任26人、新任7人</p> <p>・第2回理事会において、第38期役員の中から正副会長及び常務理事の選定を行った。</p> <p>・第2回理事会において、本会が進めるTHANKS（サンクス）運動の取組状況について報告を行い、同運動の今後の方向性等について協議を行った。</p>	<p>・事業や経営状況についての説明資料を作成し、理事・評議員に報告することで、法人経営への参画及び理解促進が図られ、適正な法人経営につなげることができた。</p> <p>・THANKS（サンクス）運動の取組状況や意義について再確認し、今後の事業展開に向けて同運動の方向性を確認することができた。</p>																																			
<b>③業務推進体制の強化</b>																																					
ア. 職員の資質向上及び事務局体制の強化	<p>・職務会を毎月開催するとともに、新任職員に対し、採用時に所属部所の業務やオリエンテーションを実施し、福祉制度の動向や業務内容等について共有を図った。</p> <p>・「事業概要説明会」の開催を通じ、本会第5次地域福祉活動総合計画や各事業等について共通理解を図り、事務局職員の資質向上を図った。</p> <p>・全職員を対象に「社会福祉協議会基本要項2025」職員勉強会を開催し、社協の使命や役割等について共通認識を図った。</p> <p>・全社協主催の「社会福祉協議会管理職員研修会」等に職員を派遣し、管理職の役割等について学んだ。</p> <p>・社会福祉士実習受入に向け、実習指導者を1人養成するとともに、実習内容等の検討を図ることを目的に局内プロジェクト事業を提案した。</p> <p>・前年度末の正規職員退職に伴い、7月に正規職員2人を採用した。</p>	<p>・職務会や業務説明、オリエンテーションの実施により、職員間の連携強化につながった。</p> <p>・研修会の開催や派遣を通して、事務局職員の資質向上につながった。</p> <p>・局内プロジェクトへの提案を通じ、福祉人材育成の観点から県社協の役割について局内で共通認識を図ることができ、次年度のプロジェクト実施につなげた。</p>																																			

令和7年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
イ. 労務管理・安全衛生管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全衛生委員会と産業医による健康相談を定期開催する等、安全衛生管理体制の強化につなげた。</li> <li>安全衛生委員会（4回）</li> <li>産業医による健康相談（12回：13件）</li> <li>職業性ストレス調査の実施（全職員）</li> <li>全職員を対象とした安全衛生に関する知識向上を図る講習会を開催した。</li> <li>救急法講習会（参加者18人）</li> <li>睡眠講習会（参加者30人）</li> <li>食生活講習会（参加者18人）</li> <li>顧問の社会保険労務士から随時、最新の労働・労務に関する情報提供を受け、助言を得ながら、労務管理体制の充実に努めた。</li> <li>感染症感染防止対策として、事務所内の消毒作業や換気等の感染防止策を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場の安全衛生管理体制と職場環境の充実及び産業医健康相談の活用することで、職員の健康確保に資することができた。</li> <li>顧問の社会保険労務士との連携により、労働関係に関する情報や制度動向を把握し、労務管理体制の充実が図られた。</li> </ul>
<b>④九州社会福祉協議会連合会事務局の運営</b>		
ア. 九州社会福祉協議会連合会事務局の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州社会福祉協議会連合会事務局として、全社協の各種委員就任調整等、全国・九州ブロックとの連絡調整を行った。</li> <li>「九州社会福祉協議会連合会顕彰規程」に基づき、九州各県の社会福祉事業従事者等に対し顕彰を行った。</li> <li>表彰決定者数 1,889人 (保協98人、児養協33人、知協99人、里親12人、民児協1,072人、地域福祉委員会195人、老施協240人、身障協129人、セルブ11人)</li> <li>全社協主催の「災害ブロック幹事県・市社協会議」に参加し、「社協の応援派遣のあり方検討委員会」委員の推薦について、九州各県・指定都市社協と調整し、沖縄県から1人委員を選出した。また、報告書（案）について九州ブロックの意見を取りまとめた。</li> <li>九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、災害時の連絡窓口の確認を行い、連絡体制を整えた。</li> <li>8月に発生した九州豪雨災害に伴い、ブロック会議の開催、被災地の情報提供、熊本県八代市社協への九州ブロック応援職員派遣調整等を行った。</li> <li>九社連理事会を2月5日に北九州市で開催し、令和8年度事業計画・予算の審議を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九社連における各事業の実施等を通し、九州各県・指定都市社協の相互連絡・調整機能の強化につなげた。</li> <li>九社連会長表彰により、これまで長年にわたり社会福祉の増進に寄与された方々の功績を讃えた。</li> <li>8月の九州豪雨災害発生時に応援協定に基づき災害救援活動を実施することで、被災地の復旧につながった。</li> </ul>
<b>(2) 経営の適正化と透明性の確保 ※所管部署：総務企画部</b>		
<b>①経営情報の適切な開示</b>		
ア. 経営情報の適切な開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令に基づき、閲覧用の決算書等の書類を整備するとともに、本会ホームページやWAMネットに掲載することにより広く情報提供を行った。</li> <li>事業計画・予算、事業実績・決算については、広報誌や本会概要説明資料において表やグラフを活用するなどして分かりやすく開示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法で規定されている各種書類の公開を適正に行うことにより、公正で透明性のある運営の推進が図られた。</li> <li>決算状況について、理事会・評議員会の説明資料や本会広報誌において表やグラフを活用し分かりやすくすることにより、本会の経営状況の理解促進につながった。</li> </ul>
<b>②適正な監査体制の整備</b>		
ア. 財務規律の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧問会計士による月1回の訪問指導に加え、日々の会計業務において疑問が生じた際には随時相談を行った。</li> <li>本会監事による監査（2回）を実施し、法令や会計基準に沿った適正かつ公正な会計処理に努めた。</li> <li>12月に社会福祉法に基づく県指導監査を受審し、指摘事項に対するの改善に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令や会計基準、本会各種規程に基づき適正かつ公正な処理を行うことにより、財務規律の強化につながった。</li> </ul>
イ. 内部牽制体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>現金の收受をはじめ、マイナンバーの取り扱いや出納印の管理など、各種マニュアル等にそった業務取り扱いの徹底を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種マニュアルによる出納業務及び個人番号等の複数名体制での取り扱いなど、内部牽制機能を高めることにより、適正な法人運営が図られた。</li> </ul>

令和7年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
(3) 財政基盤の強化 ※所管部署：総務企画部		
①安定した事業費及び運営費の確保		
ア. 自主財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員企業との優先取引や、研修会の会員割引、新規法人への加入依頼など会員の加入促進を図った。</li> <li>・本会ホームページ、広報誌、報道機関へのプレスリリース等を通して、寄附金品の贈呈についての情報を発信し、本会への寄附の周知に努めた。</li> <li>・市場金利の状況を随時確認するなど、本会が所有する資金の効果的な運用に努めた。</li> <li>・各種資料への広告掲載、ホームページへのバナー広告を掲載し、広告料収入の確保に努めた。</li> <li>・県内の福祉施設従事者等のニーズに対応した自主研修を各部署で企画し、研修参加者の育成を目指すとともに、参加費収入の増額に努めた。</li> <li>・芸能家有志による御奉仕並びに斯業発展に賛同される方々の協力を得てチャリティ公演（年2回）を開催した。            ≪第24回芸能チャリティ公演≫            期日：令和7年12月14日            会場：沖縄コンベンションセンター            来場者数：501人            収益金：842,309円            ≪第49回芸能の夕べ≫            期日：令和8年3月8日            会場：アイム・ユニバースてだこホール            来場者数：424人            収益金：集計中</li> <li>・本会が共有持ち分者となっている、カフーナ旭橋やパレット久茂地の役員会に参画し、賃貸料収入の確保に努めた。</li> <li>・民間助成金の活用に向けて情報収集を進めたが活用には至らなかった。</li> <li>・中長期の財政計画の策定に向け、財政状況の推移や今後の課題について、職員間で共通認識を図るとともに、副部所長等で構成される財政計画検討会を3回、管理職で構成される策定会議を2回開催するなど、財政強化アクションプラン（仮称）の策定に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会費及び寄付金の案内・周知、効率的な資金運用、共有持ち分に係る役員会への参画などにより、自己財源を確保することで、組織経営の安定化を図った。</li> <li>・年度後半にチャリティ公演（12月、3月）や自主研修を実施し、一定の自己財源を確保することができた。</li> <li>・財政計画検討会を開催し、今後の財政的課題の共有や課題解決に向けた取り組みを協議することで、財源確保に向けた職員の意識が高まった。</li> <li>・受取利息収入については、預金利率の引き上げに伴い増額となった。</li> </ul> <p>※カッコ内は当初予算に対しての達成率となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会費収入 13,305千円（87.2%）</li> <li>・寄附金収入 7,606千円（152.1%）</li> <li>・チャリティ収入 1,923千円（144.5%）</li> <li>・研修会収益 1,745千円（68.2%）</li> <li>・広告料収入 8,322千円（113.7%）</li> <li>・賃貸料収入 30,925千円（99.9%）</li> <li>・受取利息収入 31,721千円（121.2%）</li> </ul>
イ. 公的財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費や物価高騰により事業費が著しく増加傾向にあることから、県補助・受託金の増額について、県へ要請文を提出した。</li> <li>・また、県担当者に対して今後の財政状況、各事業における自己財源での補てん額を説明するなど、課題の共通認識を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県主管課への県補助金・受託金の増額要請や、県担当職員との細かな調整等により、次年度の補助金・受託金の確保が図られた。特に県受託金については、ほとんどの事業で増額となった。（県受託金8,024千円増）</li> </ul>
②効率的な事業実施と適正な予算執行の推進		
ア. 効率的な事業実施と適正な予算執行の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部長会、四半期実績会議（4回）を通じ、事業の進捗管理、予算執行状況等について確認し、適正な事業・予算執行に努めた。</li> <li>・文字起こしアプリを導入し、議事録作成等の効率化を図った。</li> <li>・勤怠管理システムの改修により、休暇等の取得手続の省略化を図った。</li> <li>・会費システムと会計システムを連動させ、会費入金時の伝票を自動作成できるよう改修を図った。</li> <li>・ホームページのサーバー移行を行い、編集作業等の効率化を図った。</li> <li>・本会の財政状況について職員への説明会を実施し、共通認識を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に事業進捗状況及び予算執行状況を確認することで、事業実施と適正な予算執行の推進が図られた。</li> <li>・アプリの導入やシステム改修により業務の効率化を図ることができた。</li> <li>・ホームページの編集に時間がかかるという運用面での課題がサーバー移行により解消された。</li> <li>・本会の財政状況について認識を深めることにより、財源確保に向けた職員の意識が高まった。</li> </ul>

令和7年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
(4) 沖縄県総合福祉センターの適切な管理運営 ※所管部署：総務企画部		
①利用者及び入居団体のニーズに応じた管理運営		
<p>ア. 利用者及び入居団体のニーズに応じた管理運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの円滑な管理運営のため、受付システム導入に向けた業者との調整を図り、デモンストレーションを行い、導入の検討を進めた。</li> <li>・センター正面玄関、窓口へのセンターパンフレットの設置や、来館者に対しパンフレットを配布し貸館利用の広報を図った。</li> <li>・センターホームページの利用料一覧を更新し、見やすく整理した。</li> <li>・管理室窓口に、総合福祉センター入居団体のパンフレットを置いた入居団体紹介コーナーを設置し、来館者に入居団体を知ってもらうだけでなく、適切な相談窓口につながるよう努めた。</li> <li>・指定管理者として、定期的な設備点検の実施や修繕等を行い、センター利用者の利便性や安全性の向上に努めた。(小規模修繕25件)</li> <li>・火災を想定した消防避難訓練を6月に第1回目を実施し、緊急時の避難誘導や自主消防隊の対応等について、入居団体と共通認識を深めた。第2回目の消防訓練では、地震と地震に伴う火災を想定した避難訓練を実施した。</li> <li>・センター外壁工事等大規模修繕を県と協働して実施した。</li> <li>・大規模修繕実施箇所 外壁(タイル剥がれや雨漏り等修繕) LED電気交換 ゆいホール排煙窓の修繕 防火バッテリーの取替修繕 ゆいホール音響設備一部修繕 消火ポンプ基盤取替修繕 1号、2号機エレベーター電磁ブレーキ修繕 3号機エレベーターブレーキディスク取替修繕</li> <li>・入居団体連絡会を開催し、運営管理に関する意見交換を行った。</li> <li>・利用者アンケートを実施し、利用者のニーズ把握に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公正な貸館業務やホームページの運営を通じて、センター利用の促進につながった。</li> <li>・センター設備の定期点検及び修繕等を計画的に行うことで、利用者の利便性や安全性を向上させることができた。</li> <li>・入居団体や利用者からの意見等を踏まえ、適切な運営管理やサービスの向上につなげることができた。</li> </ul>

令和7年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果																									
②社会福祉活動における拠点施設の機能強化																											
ア. 社会福祉活動における拠点施設の機能強化	<p>・県内の社会福祉活動の拠点として、研修室等の貸館を積極的に行い、福祉人材の育成や資質向上の場を提供した。</p> <p>〈センター貸出等実績〉</p> <table border="1" data-bbox="569 611 1640 872"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>貸出実績(件)</th> <th>稼働率(%)</th> <th>利用人数(人)</th> <th>利用料収入(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7(A)</td> <td>11,361</td> <td>68.1</td> <td>203,000</td> <td>28,600,521</td> </tr> <tr> <td>増減(A-B)</td> <td>+134</td> <td>-0.4</td> <td>-17,788</td> <td>+837,134</td> </tr> <tr> <td>R6(B)</td> <td>11,227</td> <td>68.5</td> <td>220,788</td> <td>27,763,387</td> </tr> <tr> <td>(参考)R6</td> <td>11,227</td> <td>68.5</td> <td>220,788</td> <td>27,763,387</td> </tr> </tbody> </table>	年度	貸出実績(件)	稼働率(%)	利用人数(人)	利用料収入(円)	R7(A)	11,361	68.1	203,000	28,600,521	増減(A-B)	+134	-0.4	-17,788	+837,134	R6(B)	11,227	68.5	220,788	27,763,387	(参考)R6	11,227	68.5	220,788	27,763,387	<p>・貸館業務行うことで、福祉人材の育成や資質向上につなげることで、本県の社会福祉の促進を図ることができた。</p> <p>・自主事業の実施やまつり会場として貸出を行うことで、入居団体等の福祉関係職員や地域住民の交流を促すとともに、社会福祉活動への参加促進につながった。</p>
	年度	貸出実績(件)	稼働率(%)	利用人数(人)	利用料収入(円)																						
R7(A)	11,361	68.1	203,000	28,600,521																							
増減(A-B)	+134	-0.4	-17,788	+837,134																							
R6(B)	11,227	68.5	220,788	27,763,387																							
(参考)R6	11,227	68.5	220,788	27,763,387																							
<p>・センター自主事業として、下記催事を実施し、センター内外職員間や地域住民の交流を促した。</p> <p>こいのぼり掲揚式 (150人)</p> <p>七夕展示 (約30人)</p> <p>・第52回いしみね地域福祉まつりの祭り会場として本センターを貸出し、地域住民と近隣福祉施設・団体との交流機会の確保に協力することができた。(約1,000人)</p> <p>・センター内外の職員を対象とした安全衛生に関する知識向上を図る講習会を開催した。(再掲)</p> <p>救急法講習会 (18人)</p> <p>睡眠講習会 (30人)</p> <p>食生活講習会 (18人)</p>																											